

## 平成29年度 第6回西日本放送番組審議会

開催年月日 平成29年10月10日(火) 14:00~16:00  
開催場所 西日本放送高松本社 5階役員会議室  
委員の出欠 委員総数 8名  
出席委員数 7名

### 出席委員の氏名

高嶋克洋	委員長
河藤明子	委員
鈴木森賢史	委員
大倉美恵	委員
小槌和志	委員
守家祥司	委員
森下聖史	委員

### 欠席委員の氏名

佃昌道	委員
-----	----

### 社側の出席者

中村卓朗	(代表取締役社長)
富永久	(取締役総務局長)
吉岡邦男	(相談役)
中川洋一	(営業局長)
小野修一	(報道制作局長)
吉田剛	(報道制作部長)
伊達典子	(報道制作)

### 事務局

山本博司	(報道業務部長兼事業部長 兼放送審議長)
香川豊宏	(編成業務部兼放送審議室)
山本峰子	(放送審議室)

## 議事概要(10/10) 第6回

今回は、テレビ番組『生きて、咲く ～少女がみつめたハンセン病』を視聴していただきました。委員の皆さまからは、

たった30分の番組ですが、本当に感動した。

入所者さんの話だけだと本当に深刻な話で、視聴者の方も重い気分になると思うが、島に来ていた小学生に対する茉莉花さんの説明もしっかりしており、それが逆に視聴者にはわかりやすい形になっていたように感じた。

長きにわたって、継続していろんなものをずっと取材してきた結果、このような番組ができたんだらうと感心した。

河野茉莉花さんの素晴らしさと、それから入所者さんとの交流をととても丁寧に映されていたと思う。

体育の授業や敬老会、入学式など考えたこともなかったので、これがテレビで映されたことは本当に素晴らしいことだと思った。少女と患者とが今まで過ごした写真や映像にそのかわりを入れることにより、少女の目に映ったハンセン病の問題や、患者さんたちとどう関わっていたかを垣間見ることができた。

この番組の放送が深夜だったのは非常に残念。例えば、『24時間テレビだとか、人権週間などに絡めて、皆さんが見やすい時間に放送してほしい。

各シーンに撮影日時が入っていれば、彼女の成長の記録がよりわかりやすかったような気がする。等の意見がありました。

制作者側からは、この10年ほど、大島で取材をしていますが、毎年のように入所者さんが減っているので、負の歴史が風化するというか、忘れ去られてしまうことに危機感を抱いています。ローカル局の使命として自分の仕事だと思います、大島のことはこれからも

ずっと取材を続けようと思っています。その一方で茉莉花さんが感じている、入所さんの淡々と強く生きていることをこれからも伝えていけたらと思っています。旨が述べられました。